

福 議 委 号  
平成28年11月18日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会  
委員長 川 村 明 雄

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会9月会議（平成28年9月15日）において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調 査 事 件	(6) 行政評価（事務事業評価）について
調 査 期 間	平成28年11月7日（1日間）
出 席 委 員	委員長 川 村 明 雄      副委員長 木 村 隆 委員 滝 川 明 子      委員 佐 藤 孝 男 委員 平 野 隆 雄      委員 溝 部 幸 基
欠 席 委 員	な し
委員外議員	な し
出席説明員	な し
議会事務局職員	事務局長 谷 藤 悟      次 長 鍋 谷 浩 行 議事係長 澤 田 元 気

## **[委員会意見]**

### **調査事件 6 行政評価（事務事業評価）について**

**（平成 28 年 11 月 14 日調査）**

町では、まちづくり基本条例第 20 条第 2 項の規定に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、平成 27 年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例第 10 条第 2 項の規定による決算説明資料として議会に提出しています。議会のチェック機能の強化と併せて翌年度の予算へ反映させることを目的に、それぞれの事務事業について議会としての評価を実施したものであり、評価方法及び結果を次のとおり報告する。

#### **【評価方法】**

議会による行政評価（事務事業評価）要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した 4 段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としている。

なお、平成 27 年度からは評価点数ではなく、行政で評価した内容と議員が認識している評価対象事業の内容を総合的に判断し、「◎」十分評価できる、「○」概ね評価できる、「△」やや不足、「▲」不足の 4 段階評価としている。

#### **【評価内容】**

##### **（1）評価結果**

評価した 16 件の議会としての最終評価及び説明は、下表のとおり。

◆平成28年度 議会による行政評価（事務事業）結果表

事務事業名	町の評価内容						議会の評価	
	必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.1 会議録調整費	5	2	A	A	A	A	◎	引き続き迅速な会議録作成を期待する。
No.2 情報公開費	5	2	A	A	A	A	○	より一層迅速でわかりやすい情報公開を期待する。
No.3 職員研修費	4	3	A	A	A	A	○	知識研修、接遇研修のほか、専門的研修などで内容を充実し質的向上を図ることを期待する。
No.4 車両管理費	4	3	A	A	A	A	○	引き続き各車両のとも清掃・点検の徹底を図られたい。
No.5 交通安全対策費	5	2	A	A	A	A	○	交通安全車によるのより、より効果的な交通安全啓発の工夫を願いたい。
No.6 産業活性化サポート事業費	7	3	A	A	A	A	○	各団体と担当課が密接に連携し、具体的な活用方法を再検討願いたい。
No.7 バス待合所管理	5	3	A	A	A	A	○	情報発信の場としての工夫を期待する。
No.8 インターネット事業費	4	3	A	A	A	A	◎	引き続き情報漏えい等のないよう努力されたい。
No.9 産学官連携産業活性化事業費	4	2	A	B	B	B	△	腰を据えた事業展開が必要であり、三大学との連携について再検討願いたい。
No.10 確定申告電算化事業費	6	2	A	A	A	A	◎	引き続き申告相談の迅速化に努力されたい。
No.25 福島商業高等学校存続対策費	7	3	A	A	A	A	○	高校と連携のうえ魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.26 友好町交流事業費	6	3	A	A	A	A	○	子ども達の交流以外にも町職員の交流等新たな交流内容をも検討願いたい。
No.27 ALT招致費	7	3	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.28 学校給食センター費	7	3	A	A	A	A	○	地元食材の利用割合を更に上げるようさらに検討願いたい。
No.29 読書活動費	9	3	A	A	A	A	○	図書室の運営をさらに充実願いたい。（現状では図書司書が不在であるため、確保を）
No.30 ファミリースポーツ公園管理費	5	2	A	A	A	A	○	利用者の増加につながるような初心者のための事業などのPRに努力されたい。